

2021年7月19日、柏崎市文化会館アルフォーレの大ホールにて、スーパーイノベーション講演会を開催しました。スーパーイノベーション講演会は、国際的に活躍または注目されている研究者や技術者から科学技術イノベーションに関する講演を聴き、生徒の科学技術に対する興味・関心や研究に挑戦する意欲や社会貢献の意識を向上させることを目標に行っています。今回は柏崎高校の生徒に向けて、株式会社大原鉄工所の桑原新二様よりご自身の日本南極地域観測隊での経験を主軸に、やりがいを感じる仕事を行う楽しさなどを話して頂きました。

●講演者

株式会社 大原鉄工所

サービス営業部 車両サービス課

課長 桑原新二様

●演題

「サラリーマンの体験

～最果ての地から見える地球～

ご自身の企業入社から日本南極地域観測隊での活動を行うまで、また南極でどのような任務をして過ごされたか、などのお話を豊富な写真や資料を見せて頂きながら講演して頂きました。



生徒の感想

- ・今まではあまり科学に興味が無かったけれど、南極で見つかる隕石の話や70万年前の氷の話を聴いて少し興味を持ちました。(1年生)
- ・自分の好きなこと、得意なことをみつけ、それを仕事にしてやりがいをもってすることが大切だということがわかりました。そして、周りの人をフォローすると、自分が困っているときに助けてくれることもわかりました。周りの人を大切にしながら、自分の将来に向かって進んでいきたいです。(1年生)
- ・初めて知ることが多かったです。オーロラの原理や、日本は世界で1、2位を争うほど多くの隕石を所持しているという話が面白かったです。(2年生)
- ・将来の夢で迷っているなら、自分の好きなものに関わることをやるもの1つだということがわかった。私はやりたいことが決まっているので、それに向けて頑張っていこうと思う。(2年生)
- ・南極はとても神秘的で遙か遠い地というイメージだったが、長岡という身近な地から人も雪上車も行っているのだと知り、とても興味がわきました。桑原さんがおっしゃっていたように、好きなことを見つけ、それに向かって努力を続ければ、想像を超える景色を見られるのかな、と思いました。(3年生)
- ・南極地域観測隊というものがあることを今回の講演会で初めて知りました。南極の氷の上を渡っている映像を見て、楽しそうだと思いました。私もあんなに近くでペンギンの群れをみたいと思いました。(3年生)